

研修医だより

● 2年間の臨床研修を終えて 2022.04.30

▶ 研修医 2年目 K.N

北見赤十字病院の皆様、ご無沙汰しております。昨年度まで初期臨床研修医として勤務させていただいておりました、K・Nと申します。

私は現在、苫小牧市立病院で内科医師として勤務しております。やはり研修医時代とは責任の重さが全く異なり、日々業務に追われながらも楽しく医師3年目としての充実した毎日を送っています。

北見赤十字病院の皆様には、はじめは本当に何もわからないところから温かく様々なことを指導していただき感謝の念に堪えません。特に私たち研修医は上級医の方々はもちろん救急外来のスタッフの皆様、病棟スタッフの皆様にお世話になることが多く、今になって思い返すと本当に我慢して見守っていただいていたなど痛感しております。

私たちの研修医としての2年間はコロナとの闘いでもありました。様々な行事が中止になり、診療も普段通り満足には行えない中でいつもと何一つ変わらない指導体制を築いていただき、本当にありがとうございました。それぞれの道に進むこととなりましたが、幅広い診療を経験させていただいたことは私を含め皆今に繋がっていると思います。個人的には内科医となった今、救急外来でありとあらゆる救急疾患を経験することができたことが非常役立っていると感じています。また、いくつも学会発表や院内での症例発表をさせていただいたことも良い経験となりました。ここで研修できてよかったですと心から思いますし、是非後輩にもおすすめしたいです。

私は今後、膠原病内科医としての道を歩んでいく予定です。またいつの日か、内科医としてオホーツクの診療に貢献出来たら嬉しく思っています。

まだまだコロナとの戦いは続きそうですが、一緒に北海道の医療を支えていきましょう。

2年間、本当にお世話になりました。



Congratulations on completing!